



西原村の誕生

1960(昭和35)年3月9日に役場位置を字西原に決定して協議がすべてまとまり、6月18日に山西村会で、19日に河原村会で満場一致で両村の合併が決まり、新村名「西原村」として9月1日に発足することになった。新村名は、「住民感情の融和及び村民の最も親しみ易い名称として」、旧村名から一字ずつ取って選定した。(「昭和34年8月以降 山西・河原町村合併関係書類」)。

郡は知事裁定で阿蘇郡となった。1960(昭和35)年9月1日、ついに西原村が誕生した。初代村長は荒木三蔵、第1期の村会議員は18名で第2期から16名となる。以来新たな歩みが続けている。(『西原村史』2010年より引用・参照)



荒木三蔵

初代の西原村長を務め、昭和51年9月の退任まで29年間もの長期にわたり村政を担当する。優良町村として全国表彰をはじめ、山西村河原村の合併問題、県道熊本高森線開通など多くの業績を残した。また、最初の西原村名誉村民でもある。



西原村合併50周年記念式典



西原夢運太鼓



名誉村民の表彰を受ける山本佐吉元村長

記念すべき合併50周年を迎えるにあたり、平成22年10月3日、西原中学校体育館において「西原村合併50周年記念式典」が行われました。

子どもたちによる西原夢運太鼓の勇壮な演奏で幕を開けた式典では、村長式辞や来賓祝辞、自治功労者の表彰などが行われ、名誉村民には第3代村長の山本佐吉氏が選出されました。

当日は途中から雨模様となりましたが、各地から足を運んでいただいた来賓の方々や一般の方など多くの方にご出席いただきました。式典後には、おなじみDOYO組のコンサートも行われ、西原村の未来を担う子どもたちと共に楽しいひとときを過ごし、盛会のうちに幕を閉じました。